

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年6月3日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677200117
法人名	社会福祉法人 福寿会
事業所名	グループホーム るーぴんのさと〈東串良〉
所在地	鹿児島県肝属郡東串良町池之原2087番地1 (電話) 0994-63-0737
自己評価作成日	平成27年4月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年5月14日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設のつくりがどの居室からも生活空間(共同スペース)へ直結しており、またウッドデッキに出ることが可能であり、開放的なつくりを活かして天気の良い日には利用者と散歩外気浴を兼ねたお茶会を実施している。

ホーム外には季節感を感じて頂くため利用者とともに園芸(家庭菜園)を実施している。家庭的な雰囲気を作り出す為、日々職員と利用者で試行錯誤しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは法人主催の夏祭りや敬老会に地域住民を招待して、毎年恒例の地域交流が行われている。
- ・運営推進会議は定期的開催され、利用者の日常の報告をスライドを活用して紹介している。
- ・法人で身体拘束廃止委員会が設けられ、法人全体の研修で身体拘束の事例を出して「身体拘束はしない」について勉強会を行っている。職員のアンケート調査を実施し、拘束についての意識を高めるよう取り組んでいる。
- ・年2回消防署の協力で火災避難訓練を昼夜想定で実施している。地域の消防団も加わり行なう時もある。地域協力隊や法人内の協力体制等、災害時の対応が整っている。毎月、夜間想定でマニュアルに沿った自主訓練を実施している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を基に利用者様への日々の生活を提供している。毎朝朝礼時、理念の復唱を行い職員全員の意識付けを行っている。	ホーム独自の理念を職員で毎年話し合い見直している。朝礼時に理念を復唱し理念に沿ったケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域交流会を開催し、地域の方へホームの取り組みの様子の伝達や地域住民の方との交流を図った	町主催の文化祭や敬老祝賀会に参加したり、法人で行う夏祭りや敬老会に地域住民を招待し毎年恒例になり交流が行われている。中学生の職場体験学習の受け入れや地域交流会を行い、地域との交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域交流会の開催によりホームの活動を周知した。また、同一法人の各種祭りへ参加した。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>行政関係者（役場福祉課長始め地域包括センター長、在宅介護支援センター）、民生委員、御家族を招き、介護度やADL状況説明、活動内容についてはスライドを使用し説明している。</p>	<p>会議は定期的開催し、ホームの状況報告やスライドを活用して日常の活動場面を紹介し、外部評価結果報告等を行なっている。参加者から地域行事の情報を得たり、意見や提案を貰ってサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議にて行政関係者を招き、町の活動方向や国や県からの伝達事項を伝えていただいている。必要に応じては出向き相談等実施している。</p>	<p>町役場に出向いて相談し助言及び意見を得たり、電話での相談を行い協力関係を築いている。メールで研修の案内などの情報を受けたり、運営推進会議に出席して貰い、情報交換を行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束は未実施。玄関・居室等も日中は開放している。法人内の研修会を含め、部署会議の折に定期的な勉強会を実施している。</p>	<p>法人で身体拘束廃止委員会が設けられ、法人全体の研修で身体拘束の事例を出して「身体拘束はしない」について勉強会を行っている。職員のアンケート調査を実施し、拘束についての意識を高めるよう取り組んでいる。日中は玄関の施錠はせずに自由に出入りできるようにして、外に出て行く場合は散歩や買い物で対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待は行われていない。法人内の勉強会等研修の機会があれば参加し言葉や態度等虐待につながるような意識付けを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	行政関係者と連携を図りながら制度について理解を深め必要があれば利用できるようにしている。法人内の勉強会や部署会議の際に勉強会において尊厳等について理解を促している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	年に1回家族会を開催し、意見や施設の変更点など周知・情報収集している。契約に関しては入所時に契約書及び重要事項説明書にて確認を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会や各種行事、面会時に参加して頂いた際に、御家族からの要望・意見を取り入れるようしている。	利用者からは感情や思いを素直に出せる雰囲気作りを行い、日常の会話から知り得たことを記録し職員で共有できるようにしている。家族からは家族会や敬老会・忘年会等の行事参加時及び面会時や受診の報告等の折に意見や要望を聞き対応に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の部署会議に参加して頂き、実情報告及び改善点について意見を述べている。また、個別面談も実施しているので定期的に実施反映されている。</p>	<p>毎月ホームで処遇会議を兼ねて部署会議を実施し、職員の意見や提案を聞いている。施設長による年2回の個別面談の他、管理者は個別相談を日常的に受けて、職員の意見を反映させ、働きやすい環境作りに努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回個別面談があり、職員の意見や改善点・悩み等について相談出来ている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月勉強会の開催を実施し職員のスキルアップにつなげている。また、職員のモチベーションアップにもつながっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内のGHと毎月合同で部署会議を開催し意見交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前の情報等を関係者から入手し、入所後に本人への聞き取りを行うなどして確認しケアに繋げている。希望があれば事前に見学を促すなどしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前や入所後に御家族と話し合いの機会を設け相談に応じている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>必要があれば法人内外を問わず介護保険サービスや保険外サービスなど関係機関と連携が取れるようしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>季節感を味わっていただくために利用者様に出来ることは実施していただいている。(味噌作り・料理の下ごしらえ等)</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会や行事へ促しを行っている。また、遠方の方へは近況報告を随時行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>定期的に外へ出向くよう働きかけを行っている。馴染みの方との関係を継続できるよう働きかけている。</p>	<p>利用者の要望に沿って買い物や自宅訪問に同行したり、家族の協力で馴染みの美容室や外食・祝い事等に出かけ、これまでの関係が途切れないよう支援している。友人・知人の面会や町の敬老祝賀会に参加して知人との交流継続も行っている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>グループワークの中で馴染みの関係を構築できるよう働きかけ、利用者様がお互いに気を掛け合うようになっている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>利用者の状況に応じて関係機関への紹介を行っている。その際には行政と意見交換を行うなど随時相談しながら対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自分の意思を伝えられる方へは可能な限り答えている。発語が聞かれない方は、御家族の意向等踏まえながら対応している。	日常の何気ない会話の中で、一人ひとりの思いを把握するように努めている。感情や思いを素直に話せる雰囲気作りに心がけて、コミュニケーションを大切に傾聴している。意思疎通が難しい場合は、表情や仕草の変化を見逃さないように努め、家族等からの情報を参考にして支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者との関わりの中で質問的でなく日常の会話から生活の中で取り入れるよう工夫をしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護度はもちろんその日の心身状況を大切に職員間で情報伝達を行い対応している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスには御家族へ参加を促し現状に対しての意見や今後の展望等聞き入れ計画を策定している。	日常生活の中で利用者から思いを聞いて記録し、家族の都合に合わせて担当者会議を実施し、本人及び家族の希望等を反映した介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月毎に実施し、現状に即した計画になるようにしている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	健康チェック表やケアチェック表を活用している。また、日誌の個別記録を記載している。生活の流れの中から計画策定の際の参考としている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出・外泊時の送迎支援及び病院受診の送迎を行っている。また希望があればホームで宿泊が出来るようになっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難訓練の際には消防職員の立ち会いを得ながら実施。散髪に関して地域の理容師へ依頼している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時にGHの嘱託医に変更するか、既存のかかりつけ医にするかは家族の判断に委ねている。嘱託医の往診のほか、希望があれば他科受診（専門医受診）を行っている。医療との連携ができるよう配慮している。	本人及び家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。定期受診はホームで対応し、家族へ結果報告をしている。専門医などへは家族がいけない場合は職員で対応している。協力医からの往診は毎日ある。緊急時は家族と医療機関で合流する等の対応で、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	同敷地内にある特養看護師と連携を図りながら、日専門的な意見を聞き入れている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時は医療相談員等と近況報告のやり取りを行い、状況把握に努めている。顔なじみの職員が入院先を訪問するなどして認知症状の進行要望に配慮している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	終末期ケアの希望があった際には、GHで出来ること及び起こりうる現象等について十分説明を行っている。そのうえで御家族と話し合いを行い主治医を含めたチームケアで対応している。	重度化や終末期等のケアについては、家族と個別に話し合い、家族の要望に沿って対応している。看取り希望の場合は主治医を中心に家族及び職員で話し合い、家族に段階的に説明し支援に取り組んでいる。早めの医療との連携も図りながら家族の協力を得てチームで支援を行なっている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	救急救命の講習を受講している。また、法人内の研修会等で個人のスキルアップに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>夜間想定 of 火災訓練等定期的に実施できているが、その他の自然災害については訓練が出来ていない。</p>	<p>年2回消防署の協力で火災避難訓練を昼夜想定で実施している。地域の消防団も加わり行なう時もある。地域協力隊や法人内の協力体制等、災害時の対応が整っている。毎月、夜間想定でマニュアルに沿った自主訓練を実施しており、災害時の食糧等の備蓄もある。災害通報装置やヘルメット・ライトなどもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の尊厳を守る為、言葉遣いや声かけなど留意しながら対応している。利用者の状況に応じた対応を行うよう配慮している。	研修会やミーティングで尊厳や人権を守れるように言葉かけや対応について職員の資質向上を目指している。利用者の名前はさん付けで呼びかけ、トイレの戸は外から見えないように閉める等の工夫をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	あらゆるコミュニケーション方法を使い自己決定できるよう配慮している。表情等からくみ取るなど工夫している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムを尊重し、職員都合での生活提供は避けている。好きなテレビ番組を視聴したり、歌謡曲を聞くなど配慮している。就寝時間も本にのペースに任せている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	行事の際には本人の希望する衣装を着用していただき、おしゃれに心がけている。夜間は寝間着へ更衣し、起床時は普段着へ着替えをして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の際には下ごしらえなど手伝いを頂きながら対応している。嗜好調査を基に嫌いなものは提供せず代替えで対応するなど工夫している。	献立は法人の栄養士が作ったものを基本にして、敷地内にある菜園で収穫されたものや近所からの差し入れ・利用者と買い物に行き行って仕入れた物などを使い調理している。職員と一緒に食事の準備をしたり、野菜の皮むき等を行っている。誕生日や行事食の提供、外食等の楽しみも工夫して取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量の把握を行い日々の生活での変化の早期発見に繋げている。栄養士による献立をもとに料理作成し提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後お茶にてうがいをやっている。就寝前には義歯洗浄及びポリドント等で消毒を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表の記入により、排尿パターンを把握し、定期的な誘導を実施。トイレでの自然排尿を促すよう工夫している。	排泄パターンに応じてトイレ誘導を行い、トイレでの排泄を個別に支援している。夜間もオムツ使用者を除き基本的にトイレ誘導で対応している。オムツを減らす努力や自立に向けてトイレ誘導の支援をしている。失敗したときなどは周りに気づかれないようにさりげない対応をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品や繊維物の多い食材使用で便秘予防に努めている。牛乳嫌いな方へは形態を変えたり、色を変化させるなど工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	いつでも入浴できる体制。一人ずつ提供し、できる所は行っていただくなど残存機能の活用に努めている。また、湯船での時間を活用しコミュニケーションも図っている。	基本的に隔日の午後、入浴を実施しているが、毎日でも可能である。好みの入浴剤を使いゆっくりと職員と会話しながら個浴を楽しんでいる。入浴を拒む利用者には時間をずらしたり、声かけの職員を変えたりして対応している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活リズムに合わせて就寝していただいている。昼食後にはレストタイムとしてゆっくりできる時間をつくり対応している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は職員が行い、利用者一人ひとりの内服薬に関して情報を得ている。服薬確認を行い対応している。変更等有った際には連絡ノートにて伝達を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節感ある花を飾るなど環境整備に配慮している。日々の生活の中で出来ることは行っていただきながら、生活支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	家族希望による外出支援は行えているが、当日の支援は出来ていない。天気をみながらウッドで気で水分補給を行うなど工夫している。	日常的には近所を散歩したりウッドデッキでのお茶や食事等で気分転換を図っている。ホームの行事で年6回程度の外出を実施している。個別支援での自宅訪問や家族の協力での外出等、できるだけ出かけられるように支援している。地域の行事見物やその日の希望を聞いたりしてドライブや馴染みの所・外食を家族や職員と一緒に楽しんでる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の協力を得ながら遠足など実施している。その際に買い物など実施している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の希望があれば家族へ連絡を取るよう配慮している。また、手紙が届いた際はその日のうちに本人に手渡したり代読するようしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり掲示物で雰囲気作りに工夫している。食後に清掃を行い環境整備にも努めている。また、蛍光灯だけでなく暖色系の照明を活用することで適度な明るさになるよう配慮している。	共用の空間は天井が高く明るくて広くゆったりとしている。加湿器やエアコンで適度な環境に調整されている。季節の花飾りや利用者と職員で作った作品が飾ってある。ソファや畳の間・ウッドデッキ等、利用者が思い思いにくつろいで居心地良く過ごせるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室でゆっくりされたりテレビ前のソファで気の合う方と談話をしたりゆったりと過ごせるよう配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具等を持ち込んだり手提げかばんなど持参して頂き在宅生活の継続が出来る。	居室は和室と洋室がある。掃き出し戸から芝生に面したウッドデッキに出られ、避難路としても確保されている。ベッドや洗面台・押し入れが設置されている。本人が使い慣れたタンス等の家具やぬいぐるみ・鉢植えの花・写真等を飾り、居心地良く過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	行動制限を行わないよう環境整備に十分配慮している。各居室前には表札にて掲示している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない